

1 なでしこ部 「5位以内」決意



サッカー女子のプレナスなでしこリーグ1部のノジマステラ神奈川相模原は10日、相模原市緑区のアリオ橋本で今季の新体制を発表した。

元日本代表で2011年女子ワールドカップドイツ大会の優勝メンバー・FW大野忍(34)前INAC神戸、1月の全日本大学女子選手権で準優勝した神奈川大のFW田中萌(22)ら4選手が入団した。地元により密着したチームになるため、今季からホームタウン名の「相模原市」をユニホームの右袖に付けて戦う。

1部昇格初年度だった

新体制、地元により密着

昨季は10チーム中8位と苦しんだが、皇后杯全日本女子選手権では初の準優勝。菅野将晃監督(57)は「まだ優勝を狙える地力はないが、全員サッカーで5位以内を目指したい」と決意を示した。座間市出身の大野は「現役生活の最後は地元でやりたかった。個人タイトルより、チームに貢献することを一番に考えたい」と抱負を語った。

チームは3月21日の開幕戦に向け、今月14日から千葉県内で行われる、なでしこリーグの交流戦に参加する。そのほかの新加入選手は次の通り。

GK 久野吹雪(28) 伊賀▽MF 松原有沙(22) 早大 (矢部 真太、写真も)

新体制発表でポーズをとるノジマステラ神奈川相模原の(左から)菅野監督、田中、大野、相模原市緑区のアリオ橋本

